



令和7年6月 富田林市立青葉丘幼稚園

5月は、爽やかな新緑から始まったかと思えば、急激な温度変化や週末ごとの雨など、ビオトープの改修が始まり、刻々と変わる天気予報に一喜一憂する毎日です。

保護者の皆様には、日々ご協力いただき、ありがとうございます。子どもたちも土を運んだり、フルイをかけたりするなど取り組んでいます。

ビオトープに溜まった土を掘り出してみると、第1期、第2期と今までに改修してきた軌跡が見られ、改修を始める前の皆さんが知っている水路や池よりも、本当はもっと幅広く、深かったことがわかりました。年月を経て、少しずつ水路などに土が流れ込み植物が生えてきたことで、内側に溜まり、狭く浅くしていたようです。水が流れるはずの水路が埋まってしまったことが、水が溜まらなかった大きな理由のようです。

埋まってしまったところを掘り出すのは大変なのですが、掘り出した土、特に奥の池側の土は栄養を蓄えた土になっていることがわかりました。今年は園で、米を育てようと思っていたので、グッドタイミング!! この土を使って、田んぼ作りをし、お米を育てることにしました。

「一歩踏み出すことが、新たな可能性や道を開く」何かに挑戦することで、新しい出会いや気づき、チャンスが生まれる。今回のビオトープ改修という一歩が次の活動（遊びや経験）の一歩になる。そんな連鎖が今後どう広がり、つながっていくのか…。とてもワクワク、楽しみです。

本格的な改修はこれからです。代々受け継がれ、大切にしてきたビオトープをみんなで力を合わせて再生しましょう!! 引き続きご協力をお願いします。

親子栽培では、毎朝の水やりなどご協力ありがとうございます。親子で一緒に生長を楽しみ、収穫、そして、食べるという一連の体験をとおして、自分で育てた野菜、旬のおいしさを感じてくれたら嬉しいです。今年は、サクラambo、ソラマメ、ユスラウメなどが豊作でした。夏野菜も楽しみです。

もうすぐ、本格的な梅雨のスタートとなり、子どもたちにとっては、思いきり外で遊べず体力をもてあますかもしれませんが、幼稚園ではこの時期だからこそ楽しめる遊びを工夫し、充実して過ごしていきたいと考えています。また、パンジーにはツマグロヒョウモンチョウの幼虫がたくさんいます。凶鑑の中の出来事ではなく、生き物の飼育や植物の栽培を直接体験することで興味をもち、「不思議さ」や「命を感じる」経験になるように繋げていきたいと思っています。

青葉丘幼稚園長 平尾 由美子

* 3歳児 *

- ・先生や友達と一緒に好きな遊びを十分に楽しむ
- ・梅雨期の自然の中で、身近な動植物を見たり、触れたりする

* 4歳児 *

- ・好きな遊びを楽しむ中で、自分の思いを伝えようとする
- ・梅雨期の自然に関心をもったり、触れたりするのを楽しむ



* 5歳児 *

- ・友達と一緒に思いを出し合い、伸び伸びと遊ぶのを楽しむ
- ・梅雨期の自然に興味をもち、考え、生活に取り入れて遊ぶ

